

# ブルーム日本法人が設立25周年

## 「日本は巨大市場への玄関」

ドイツの測定機器メーカー、ブルーム-ノボテストの日本法人（愛知県小牧市、山田亨社長）が設立25周年を迎えた。長年にわたり社長を務めた山田氏はこれを機に年内一杯で退任する。朝尾信之取締役経営企画室長がバトンを受け継ぎ2025年1月1日付で社長に就任することが明らかとなった。

### 時代と共に変化

「ソ連崩壊から10年近くたち、国際的な経済活動がどんどん活発になった時代でした」。ドイツ本社のアレクサンダー・ブルーム社長は25年前の日本法人設立時をそう振り返る。

「日本法人の重要性は時代と共に変化しました。最初は日本のお客さまにわれわれの製品を届けるための場所でした。しかし、グローバル化が進展するに従い、中国や東南アジア諸国といった巨大市場に最新技術を紹介するための玄関口へと変化したのです」

同社にとって日本は「ベンチマークになる国」とブルーム社長は表現する。多くの工作機械メー

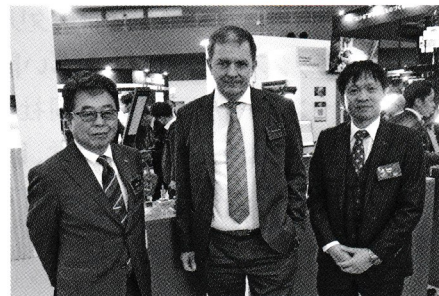
カーや製造業が集まるため「日本市場でうまくいったことは、他の国でも大抵うまくいく」と言う。

### クローズドループの生産

ブルーム-ノボテストは、ドイツのグリュンクラウトに本社を構える1968年創業の老舗測定機器メーカーだ。従業員数は全世界で約650人に及ぶ。

今回の日本国際工作機械見本市（JIMTOF2024）では、測定自動化ソフトウェア「フォームコントロールX」を前面に押し出した。CADモデルから複雑な測定プログラムを簡単に作成できるパソコンベースのソリューションだ。工作機械に搭載したタッチプローブで加工後のワークの輪郭形状や寸法を測定すれば、機械から下ろすことなく

修正加工もできる。ブルーム社長は「クローズドループ（※分析結果を前工程にフィード



左から山田亨日本法人社長、アレクサンダー・ブルーム社長、朝尾信之日本法人取締役

バックする循環型システム)での生産を実現するのに必要不可欠なソフト」と胸を張る。

### 1月1日付で新社長

JIMTOF2024も終盤となった11月9日の夕刻、東京都内のホテルで日本法人の設立25周年記念パーティーが催された。工作機械メーカーの首脳を中心に、商社や工具メーカー、周辺機器メーカーなどから約100人がお祝いに駆け付けた。

日本法人の顔であり、工作機械業界では有名人でもある山田亨社長は、25周年の節目をもって退任、社業から完全に手を引き「今後は株主としてのみ関わる」（山田社長）と言う。25年1月1日付で山田社長からバトンを受け取るのは朝尾信之取締役経営企画室長だ。工作機械メーカーや外資系工具メーカーでキャリアを重ね、約2年前に同社に入社した。朝尾氏の経営手腕に注目が集まる。

（八角 秀）



JIMTOF2024でもPRに力を入れたソフト「フォームコントロールX」（同社ホームページから）

機上測定分野で提案幅を広げるブルーム・ノボテスト(ドイツ)の日本法人(山田亨社長)が設立25周年を迎え、JIMTOF開催期間の11月9日に都内のホテルオークラでパーティーを開催した。

ブ社は、工作機械のテール上でワークや工具、温度状況などを効率・自動的に測定する「機上測定」の世界的カンパニー。日本法人設立25周年を祝い、ドイツ本社から創業者と現社長が来日したほか、主要顧客でパートナーでもある工作機械関連メーカーからは、ファナック、オークマ、牧野フライス製作所ら大手の社長が参加し、それぞれ祝辞を述べた。

席上、創業者のギユン

## 日本法人25周年、盛大にパーティー

ター・ブルーム氏は、日本市場がいかに魅力的だったかを述べ、「日本法人設立時はまだ会社が小さく、登記に相当苦勞した」などとエピソードも交え述べた。「でも1974年に日本人

の女性と結婚し、日本人のメンタリテイも良く分かっている。大丈夫だった」とも一から歩んだ山田さん(日本法人現社長)の功績に感謝したい」などと続けた。

また歓談の途中、「日本法人設立を最初に祝ってくれたのが松浦機械製作所さんだから営業の第一歩も松浦さんだった」などと明かした。これを受け松浦機械製作所の松浦俊彦社長は「最初に営業に来ていただいた

長年のサポートに感謝すると山田社長



恵まれている。25年の節目を機に益々の繁栄を」と、日本語と英語で述べた。

### ■新社長に朝尾氏

四半世紀にわたり日本人を牽引した山田亨社長は、会場の招待客に深く謝意を示しつつ、後進に道を譲る旨、挨拶した。新社長には取締役経営企画室室長の朝尾信之氏(42歳)が来月1月1日付で就任する。山田社長は本紙に対し「私が社長になったのも42、3歳。当時の私とちやうど同じ年齢の新社長にバトンを渡すことになった」と目を細めた。山田社長には1999年(設立時)の高級ワインや、ゴルフアの聖地とされるセントアンドリュースでのプレー権付き旅行券が渡され、長年の労がねぎらわれた。